

令和7年度 京都市立吳竹総合支援学校 グランドデザイン
吳竹総合支援学校再構築（令和8年度未完成）に向けた

「吳竹バルーン構想」Ⅱ

～くれたけから新しい風を～

学校教育目標
社会参加し、自分らしく生き生きと活動したいという児童生徒の願いを実現する

大切にしたい4つの因子

「やってみたい」「ありがとう」
「なんとかなる」「自分らしく」

学校経営の指針

- 子どもも教職員も学び育つウェルビーイングな学校
- 危機管理を徹底し、子どものいのち・人権を守りきる
- 専門性の向上・維持を図り、地域社会での役割を果たす

令和7年度重点的取組

地域協働プロジェクト、地域支援プロジェクト、研究推進委員会を中心に、学校・地域・社会が一体となった共生社会の基盤となる学校づくりを行う
<目標1>授業の創意工夫や改善を図り、魅力ある教育の実践と発信を行う
●子どもの思いや反応を丁寧に受け止め、社会性や人と関わっていく力を育む
●子どもたちの可能性を広げ、生活を豊かにするための手段として、情報端末等を適切、かつ有効に活用する
●子どもが何を学び、何ができるようになったのか、学んだことが何につながるのかを評価し、授業改善を行う
<目標2> 地域連携、地域協働、地域支援の充実を図る
●センター的機能を強化し、地域の学校園、施設等への支援の充実を図る
●ライフスタディやワークスタディでの学習を通して、共生社会の実現に向けた取組を進める
●地域で役割を果たす取組や交流及び共同学習の充実を図る
<目標3> 活発な研究活動を通して働きがいを高める
●授業者発信の主体的で活発な授業研究を通して、より良い授業づくり
<目標4> 働きやすさを追求し働きがいを高める（業務改善と環境整備 学校を美しく）
●業務改善案を積極的に提案、検討し、組織的・効率的な業務の見直しを図る
●職員間のコミュニケーションの活性化を図り、風通しの良い職場、心理的安全性の高い職場をつくる

吳竹の強み

- 多様な文化を受け入れる柔軟性や寛容性
 - 子どもの自由で多様な表現活動
 - ICT活用、芸術系活動、余暇活動の充実など先進的な取組、ユニークな取組
- 迅速な行動力
- 学部を超えた児童生徒のかかわり
- 行事に向かうパワー
 - 学校祭（体育の部・文化の部）等の行事に向けての取組

吳竹の伸ばしたい点

学校力と組織力

- 小中高の継続性と連続性
- 各部署の連携と協働
- 多様な学習形態の編成
- 地域への発信と協働
- 教職員の専門性、資質能力の向上
- 危機管理する力

推進する

風を

起こす

児童生徒
教職員
保護者
地域

振り返る

幸せの風

めざす

めざす児童生徒像

- 自分の心や体を大切にする
- 人を大切にし、共に生きる
- 意欲や関心を持って主体的に活動する
- 自分の思いや考えを伝えようとする
- 願いや夢に向かってすすむ
- 役割を担い、役に立とうとする
- 自分から挨拶をする
- ルールや約束を守る

めざす教職員像

- 児童生徒の健康・安全を守る
- 児童生徒を愛し、児童生徒の人権を大切にする
- 授業を大切にし、熱意をもって、児童生徒を教育する
- 自らの専門性向上をめざして日々精進する
- 保護者や地域と連携し、他の教職員と協力しながら仕事をする
- ライフ・ワークバランスを実践する

めざす学校像

- 生命を守り切る学校
- 児童生徒の学びを大切にする学校
- 信頼される学校（保護者や地域との信頼関係を基にした、安心・安全で開かれた学校）
- 子どもや保護者、地域に夢や希望を与える学校
- 心理的安全性が高く、一人一人の力が發揮できる学校

共生社会の実現・
自立と社会参加

令和7年度各部の目標（取組の重点）

指導部

様々な経験を通じ、興味関心をひろげるとともに、やりたいことを実現するための力を育てる
(1)健康な身体を作る
(2)好きなことややりたいことを見つけ広げる教育を実践する
(3)他者とともに生きるための素地を養う
◆週予定の簡略化、学部会や主任会の回数減と内容の精選、基本時間割の見直し、教材・教具の共有（吳竹教材ラボ）、業務の共有（依頼ボード、金午後の有効活用）、年間業務の見通し（前倒し新学期準備、年間指導計画作成、引継ぎ資料の検討）

中学部

子ども一人一人の可能性を広げる
(1)基礎的・基本的な力をさらに高める
(2)自ら考え、自ら活動する主体的な態度を育む
(3)家庭や地域等さまざまな場面でチャレンジする態度を育む
◆「教材・教具」の共有、「年間学習計画」の共有（学年ラ イフスタディ）・「生徒情報」の共有（一人で抱え込まない）・「週予定」の共有、供覧印の簡略化・「教材フォルダ」の積極的な活用・支援や教示内容の共有・学部業務マニュアルの作成

高等部

これまで培った力をもとに、学校・家庭・地域の中での活動を通して社会参加と自立に向けた実用的な力を伸ばす
(1)自らの目標の実現に向かって、主体的に考え方や行動する意欲や態度を培う
(2)社会の中で必要なルールやマナーの定着を図り、社会の一員としての意識を高める
(3)一人一人の願いの実現を目指して、自己理解・自己選択・自己決定する力を育てる
◆毎週金曜日！余暇ろう Day !
・余暇の充実を図るために定期的退勤
◆整理整頓！クリーン Day !
・毎週の清掃日と合わせて教材・教具、職員室資料の整理

支援部

○学校教育目標の実現に向けて、児童生徒の願いを実現するための校内支援を行う
○地域における総合育成支援教育相談支援センターの核として、地域支援の充実を図る
○相談支援機能の活性化を図る土台として、支援部教職員の専門性を高める
○校内支援・地域支援への活用に向け、教材教具の整理・分類を行なう
◆会議は30分以内で
◆育支援センター業務マニュアルの作成

総務部

各部が円滑に連携して業務遂行できるよう、企画・運営面での調整を図る
(1)児童生徒・教職員にとって安全で快適な学習環境・職場環境整備を推進する
(2)教務一般の業務を迅速に行い、各部の業務が円滑に遂行されるよう努める
(3)広報活動を通して、情報発信の活性化を図り、開かれた学校づくりを推進する
(4)学校経営計画に基づいた予算の編成と効果的な執行を図る

つながる力・
発信する力